



**Embassy of Japan
in the Kyrgyz Republic**

第 29 回中央アジア日本語弁論大会

5月16日、カラサエフ記念ビシュケク国立大学において、第29回中央アジア日本語弁論大会が開催されました。本大会は、キルギス共和国日本語教師協会がビシュケク国立大学と共催し、在キルギス日本大使館及び国際交流基金の支援を受けて実施されました。

この大会には、中央アジア各国の学生、教員、学术界の代表者が一堂に会し、学生の語学力やコミュニケーション能力の向上、そして日本と中央アジア諸国との文化・人的交流の強化に向けた重要な機会となりました。

本年は18名の参加者が日本語による発表を行いました。審査員長を務めた平野隆一大使をはじめ、審査員は参加者のレベルを高く評価しました。

入賞者は、1. フジャムナザロフ・ノジマ(ウズベキスタン共和国)、2. サディコワ・アイム(カザフスタン共和国)、3. ナザーロフ・ジュスップ(キルギス共和国)、4. マキシメニユック・ポリーナ(キルギス共和国)、5. マハマトリエワ・ナウバホル(ウズベキスタン共和国)、6. アブドゥムフトロフ・メフリニソ(ウズベキスタン共和国)でした。

なお、日本大使特別賞は以下の参加者に授与されました：

1. マハマトリエワ・ナウバホル(ウズベキスタン共和国)
2. サブザリエワ・シュクロナ(タジキスタン共和国)
3. サヘドワ・オグルシェケル(トルクメニスタン)

閉会の挨拶で、平野隆一大使は、すべての参加者と受賞者を祝福し、主催者に対し本イベントへの感謝を述べました。

